



未来を切り拓く

2025年3月7日（金）発行 文責：石田 浩一

「夢を育む学校創り」

～人権尊重の精神のもと、

自ら学び、心豊かでたくましく生きる

実践力のある生徒の育成～

早いもので今年度の最終月となりました。寒暖差の激しい日々が続いていますので、体調管理には十分に気をつけて過ごしたいものです。

§ 1 卒業式を迎えるにあたって

先般、公立高校の一般入試が終わりました。今年度は新たな入試制度（特色入学者選抜）が導入されたことにより、進路選択の幅が広がった一方で、思いもしない迷いが生じた人もいたことでしょう。受験までの道のりは、一人一人異なりましたが、自分にとって最高の準備をして臨んだことと思います。63名の進路実現が叶うことを心より願っています。

明日3月8日（土）は、令和6年度卒業証書授与式が挙行されます。3年生にとって9年間の義務教育の集大成の日となります。3年間で振り返り、ご家族をはじめ今までお世話になった方々への感謝の気持ちをもって式に臨み、晴れの門出をしっかりと心に刻んでほしいと思います。



§ 2 「愛の図書」の贈呈

3月4日（火）に江津市更生保護女性会より、青少年の健全育成を目的として、今年度も図書購入のための「愛の図書」を贈呈してくださいました。代表の方より、「多感な中学生のうちに、多くの本に出会い、心豊かに育っていただきたいという思いから、毎年この活動を続けています。」というお話がありました。生徒を代表して受け取った三宅穂波さん、古川志朗さんが、感謝の気持ちを丁寧に伝えてくれました。



江津市更生保護女性会の皆さま、本当にありがとうございました。

§ 3 部活動の地域移行等について

先般2月7日（金）にtetoruで配信させていただいたとおり、令和7年4月から一部の部活動において活動形態等が変更になります。詳細については、tetoruで配信された添付データをご確認ください。本校に係る部活動についての概要は以下のとおりです。

【部活動名】柔道部

【活動形態】地域クラブ活動へ移行

○練習場所：江津中学校柔道場

○移動方法：スクールバスを利用

○練習時間：概ね16時30分から

○その他：練習時間・休養日等は、「江津市部活動の在り方に関する方針」に準じる

§ 4 令和6年度 学校評価について

今年度は、前期・後期の2回にわたって保護者の皆様、生徒、教職員を対象にアンケートを行いました。多くの保護者の皆様から回答をいただき、誠にありがとうございました。以下に結果をお知らせし、学校関係者評価委員会からのご意見の概要を掲載します。

【アンケート結果】

項目	対象・年度				生徒				教職員				保護者			
	R 4	R 5	R 6 前期	R 6 後期	R 4	R 5	R 6 前期	R 6 後期	R 4	R 5	R 6 前期	R 6 後期	R 4	R 5	R 6 前期	R 6 後期
青陵中は、よい学校になってきた。	98	86	91	91	100	100	100	100	88	86	87	92				
私は「チーム青陵」を意識して生活している。	94	88	90	89	100	100	100	100								
生徒（私）は、目標や意欲をもって生活している。	96	92	96	93	88	94	100	100	74	79	83	82				
生徒（私）は、自ら進んで学習に取り組んでいる。	84	83	87	82	82	79	100	65	70	68	74	76				
生徒（私）は、協働的な学びに取り組んでいる。	84	87	94	91	94	94	100	100								
学習用タブレットを活用して、学習に取り組んでいる。			83	69			100	100			45	28				
生徒（私）は、明るく元気な生活を送っている。	93	92	94	92	100	100	100	77	88	90	89	84				
生徒は、友達の意見や考え、アドバイスを聞こうとしている。	95	91	93	91	100	100	100	77	92	92	93	98				
生徒（私）は、礼儀やマナーを大切にしている。	94	96	97	93	100	89	100	59	93	83	81	82				
生徒（私）は、交通ルールや校則を守っている。	97	96	97	93	100	72	100	94	92	91	93	92				
生徒（私）は、将来のことを考えている。	87	79	86	84	59	72	100	94	50	55	53	51				
生徒（私）は、人の話をきちんと聞いている。	98	95	97	98	94	94	100	100	76							
生徒（私）は、助け合っている。	97	94	96	97	88	94	100	75	94	94	93	90				
生徒（私）は、仲間を大切にしている。	95	93	97	96	88	89	100	88	82	82	81	88				

※数値は「そう思う」「どちらかというと思う」の肯定的評価の割合です。

単位：％

【学校関係者評価委員会での主な意見】

- 学習面においては、教員の授業改善の在り方について振り返るとともに、生徒を主体にした改善を図っていくことが求められる。学習用タブレットの活用においては、生徒がタブレットを開きたいと思えるような取組（eスポーツやタイピング練習など）を課題設定してみてもどうか。
- タブレットやパソコンを使うことは、社会に出たときに必要不可欠なものとなる。キャリア教育の視点から、タブレットを使って学ぶ目的を生徒に明確に示す必要がある。
- 生徒結果から、「互いに協力し合って取り組むこと」に対する肯定的な回答が経年比較からも高く、これは強みと考えてよい。協力原理の考え方を受けて、チームで学習に取り組ませて学習時間や平均点を競わせることも考えられる。自分自身の得点等が上がりなくとも、チームで目標に向かって取り組み、達成しようとする過程を大切にしていくことで、将来社会で活躍する際に必要とされる力が養われていくのではないかと。